

ゆずり葉

第100号

令和4年11月30日

回覧

発行：青少年育成本太小地区会 ■発行者：永嶋 充浩

■事務局：浦和区本太 2-26-25
さいたま市立本太小学校内 TEL 882-



92号からカラー化したのを機に題
字の背景に本太小学校校庭で撮影し
たゆずり葉の写真を使っています。

「ゆずり葉」が百号を迎えました。
昭和五十四年に「本太・元町・駒場青少年育成報」
として始まった広報紙は、昭和六十年に公募で「ゆ
ずり葉」と名称を変え、現在に至ります。
由来は、河合醉茗の詩「ゆずりは」から。ゆずり
葉は新しい葉ができる、繋がる命を見届けて古い
葉が落ちます。大人たちは次世代に譲るために造り、
新しい命に引き継いでいく。詩に歌われた温かな想
いを体現したいという願いが込められています。育
成会は次世代の子どもたちに渡すよいものを一生懸
命に造っていききたいと思っています。

ゆずりは (抜粋) 河合醉茗

世のおとうさんおかさんたちは
何一つ持っていない
みんなおまえたちに譲っていくために
いのちあるものよいもの美しいものを
一生懸命に造っています

今おまえたちは気がつかないけれど
ひとりでいのちは伸びる
鳥のように歌い花のように笑っている
間に気がついてきます

そしたら子どもたちよ
もう一度ゆずりはの木の下に立って
ゆずりはを見る時がくるでしょう

世の中の仕組みが変わっても



青少年育成本太小地区会
会長 永嶋 充浩

木の葉も日一日と色づいてまいりました。
この二年余り新型コロナウイルスは変異を繰
り返し、収束することなく、個人生活、様々
な活動を制約してきました。

ワクチンの接種も進んできましたが、収束
にはまだまだ時間が掛かるものと思います。

同時に世の中のしくみが変わってしまいま
した。テレワーク、カーボンニュートラル、
DX等確かにやらなければいけない事は理解
いたしますが、全ての事に必要があるかどう
かと思うと疑問を感じます。

子どもたちの学習方法も変わりました。デ
ジタル端末器を利用しての学習、給食の黙食
等、そのような方針を続けていくと、どうなっ
ていくのか、解明されなのまま、進んで行く
事に少し不安があります。

人には、人との繋がりを求める習性があり
ます。人との繋がりを大切にする活動を心が
けて行きたいと思えます。

このような状況の中ではありますが、皆さ
まのご健康と益々のご繁栄を心よりお祈り申
し上げます。

ドキュメンタリー映画「記憶」上映会

二月二十三日（水）浦和コミュニティセンター

浦和区ボランティアネットワーク主催の上映会を当地区会も後援し、十五名が参加しました。

女子少年院の少女達の境遇や、取り巻く社会問題を追ったドキュメンタリーで、育った環境の複雑さ、更生の難しさに暗澹たる思いがしますが、逞しい生命力も感じられる内容でした。

また、上映会の間には、平成二十六年に川口市で、母親に虐待されていた十七歳の少年が、母に教唆されて祖父母を殺害した事件をルポルタージュした「誰もボクを見ていない」著者の山寺香さんのトークショーが行われました。

長澤まさみ主演映画「マザー」の原案となった、陰惨で痛切な事件でしたが、大人に与えられた環境に子どもは抗う術を持たず、理不尽を受け入れざるを得なかった状況に言葉を失いました。周囲の気づきの重要さを改めて思い知らされました。



「記憶」上映会さいたま浦和実行委員会
さいたま市浦和区ボランティアネットワーク
ぐーちよきぱーていー
さいたま市社会福祉協議会 浦和区事務所
さいたま市危機管理課
さいたま浦和地区更生保護女性会
青少年育成本太小地区会

おたのしみ映画上映会

六月四日（土）本太小学校体育館

新型コロナウイルスで行事の中止が続く中、ささやかでも子どもたちに何か楽しみを提供できたらと、映画の上映会を開催しました。

昨年の六月に企画したものの、緊急事態措置発出で年明けに延期。更にまん延防止等重点措置が発せられて再延期となり、一年後ようやく開催できた行事です。百十五名の申し込みがあり、午前午後に分かれて三学年ずつ、映画を鑑賞しました。上映に関しては先生方に多大なご協力を頂き、小学校PTAや子ども会もお手伝いくださいました。また、交通安全DVDをお借りした浦和交通安全協会の金子会長に講話をお願いし、子どもたちに交通安全グッズもご提供頂きました。



- ①「道路にはどんな危険があるの？」
交通安全協会監修
- ②「ペット2」
大ヒット映画「ペット」の続編



安全協会の会長は育成会の金子名誉顧問です

元気な挨拶の行き交う地域と学校



本太中学校
校長

木寺 恒

鮮やかな紅葉の候、青少年育成本太小地区会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、育成会活動を通しての青少年健全育成にご尽力をいただいておりますこと、また、私たち本太中学校の教育活動にご理解・ご協力を頂いておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、私がかねてより、子どもは「社会の希望」であり、変化の激しい未来において、自ら学び、課題に主体的に対応できる心豊かな社会人の育成に、地域全体で取り組むことの必要性を肝に銘じております。本校においては「未来へ、よりよく生きる」を教育目標に、各教科の枠を超えた横断的な学習や、仲間と課題を設定し、協力して新しい価値を生み出す「さいたまSTEAMS教育」を推進しています。

特に力を入れているのが、挨拶の励行です。生徒が社会で他者と協力し、よりよく生きるためには、挨拶を始めとする基本的なコミュニケーション力の必要性を確信するからです。青少年育成本太小地区会も、地域のきずなと挨拶をとっても大切にしておられると常々伺っております。今後も地域と力を合わせ、元気な挨拶が行き交う地域づくり、学校づくりに尽力致します。

最後に新型コロナウイルスの一日も早い収束を切に願ひ、本校の教育活動を一層推進して参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

研修会 十月八日（土）本太公民館体育室

講演「虐待から子どもたちを守るう」



子どもに関わる悲しい事件が多く聞かれる昨今、育成会として何ができるかと考え、児童虐待の現状について、研修会を行いました。数多く虐待事件に携わる弁護士で、元本太小学校PTA会長でもある松山警氏に講演をお願いしました。

虐待の実際や背景、防ぐ仕組みなどについて解説頂きましたが、親から子に連鎖する背景や、不十分な対策の実態など、非常に深刻で心重くなる現状を再認識させられるお話でした。「周囲の大人に出来ることは、虐待と思われた事案に気づいたら、躊躇せず通告すること」という話に、他家の子どもであつても守る意識を持つことが大人の責務であると思えました。参加者は三十七名と、決して多くありませんでしたが、熱心な質問が相次ぎ、関心の高さが窺えました



松山さんは、居場所のない子どものためのシェルター（下記参照）の運営にも関わっていらっしゃいます。支援して下さる会員も募集しているとのこととです。

ドッジボール大会中止

今年こそは実施したいと準備を進めていたが、八月に感染が再拡大したことから、感染予防の徹底が困難であると判断し、残念ながら今年も大会中止を決めました。

三年連続の中止により、来年は「三年生以下の低学年部門は、全員が初めての大会」という異例の事態となつてしまいますが、楽しい行事に出来るよう、入念に準備していきたいと思っております。来年こそはコロナが収束するよう、願つてやみません。

今年も、準備していた参加記念品を児童に配布することで大会に替えさせていただきました。



ミニハンドタオルとリフレクターぜひ活用してください

居場所のない子どもたちのために

- ☆居場所のない子どもの緊急避難場所です。
- ☆大人がいる家で一緒に生活します。
- ☆主に中学卒業～20歳未満の女子（保護の手が届きにくく、犯罪被害に遭いやすい）を対象としています。
- ☆子ども一人一人に担当弁護士がつき、支援機関と相談し、次の居場所を探します。

NPO法人 子どもセンター・ピッピ

浦和区岸町7-12-4二チモビル浦和
大倉浩法律事務所内

☎048-862-1853

【HP】<https://childpippi.com/>



7月21日～8月25日まで、19日間、のべ83人が参加して実施しました。右記結果をさいたま市に報告しました。

夏季青少年健全育成巡回活動

昨年・一昨年と新型コロナウイルスにより縮小していた夏季青少年健全育成巡回活動ですが、今年は三年ぶりに従来の委員総出の活動を再開しました。

子ども会は二年間の空白があったため、初めての方が多かったと思いますが、多くの保護者の方にご参加いただきました。また、例年通り、小中学校のPTAにもご協力いただきました。

今号は、本太中学校の木寺校長先生にご寄稿をお願いしました。育成会は様々な行事で中学校にお手伝い頂いています。俊敏で体力もある中学生は頼りになる存在です。しかし、ここ三年は新型コロナウイルスの影響で思うように活動できず、前回のドッジボール大会で「来年の大会はボランティアで参加する」と約束してくれた六年生も、中止が続くうちにもう中学三年生です。寂しい状況が続いていますが、感染が収束し、再開できるようになりましたら、ぜひまたご協力をお願いいたします。

令和四年度定期総会

令和二年・三年と二年に亘り総会を書面決議で行わざるを得ず、今年こそは対面での開催を目指しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症は収束に至らず、結局は三年目の書面決議による総会となりました。

四月末より、自治会・町会のご協力を得て総会議案と資料を回覧していただき、会員の皆様にご意見を募りました。

五月二十八日(土)公民館資料室に皆様からのご意見を承る場を設けましたが、議案に対する反対のご意見はなく、全ての議案が承認されました。

なお、ご意見として、「会員資格の定義について」「学校入会申し込みは毎年必要か?」とのご質問がありました。今後、常任委員会に諮り、検討して参ります。

令和4年度予算

収入の部	単位	円
会費(学校申込分)		220,500
自治会助成金		563,700
さいたま市助成金		200,300
東部地区社協助成		20,000
本太公民館振興費		10,000
雑収入		1,000
繰越金		525,508
合計		1,541,008

支出の部	単位	円
運営費		335,000
助成行事費		
ぶんぶん文庫		30,000
地域団体		70,000
地域行事		300,000
活動費		310,000
予備費		496,008
合計		1,541,008

令和四年度事業計画

- ・ 会員募集・集計
 - ・ 定期総会(書面決議)
 - ・ **合同常任委員会**／**常任委員会**
 - ・ 協力団体助成
 - （ぶんぶん文庫・スポーツ少年団五団体
 - ボーイスカウト・ガールスカウト）
 - ・ 本太スクールサポートネットワーク、本太セーフティネットワーク参加
 - ・ おたのしみ映画会
 - ・ 夏季青少年健全育成巡回活動
 - ・ **浦和祭り巡回活動(浦和祭り中止)**
 - ・ 十二日まち巡回活動(実施可否未定)
 - ・ **公民館文化祭協力(文化祭中止)**
 - ・ **子ども会対抗ドッジボール大会**
(※参加記念品のみ配付)
 - ・ 研修会(講演会)
 - ・ **新年懇親会**
 - ・ **家庭教育学級参加**
 - ・ 卒業生、新入生にお祝い品贈呈
 - ・ 青少年育成巡回活動(毎月第三金曜日)
 - ・ 広報「ゆずり葉」百号発行
 - ・ 青少年育成さいたま市民会議参加・協力(運営・補導・広報委員会)
 - ・ 青少年育成浦和区民会議参加・協力
 - ・ 関係団体事業に参加・協力
- ※赤字・青字は中止または不参加
赤字は育成会主催事業
青字は主催が育成会以外の事業

◆地域の団体へ助成しました

五月二十八日(土)本太公民館資料室地域の団体に助成金をお渡ししました。

併せて、各団体より活動報告を伺いました。役員の皆さんや保護者の方は、慎重に感染対策をしながら、徐々に活動を以前のように戻していけるよう、努力と工夫を重ねてまいります。

◆功労者表彰

第二十回さいたま市青少年育成推進大会において

- 戸村 節さん(二十年功労)
 - 仁賀 紀子さん(十年功労)
 - 三輪 素子さん(十年功労)
 - 有野佐和子さん(十年功労)
 - 小川由美子さん(五年功労)
- が表彰されました。

なお、令和四年二月二十六日に予定されていた表彰式は、感染拡大防止のため中止になりました。

◆MSN委員長

本太小学校が組織する本太セーフティネットワーク(MSN)には、育成会も一員として参加しています。昨年度、創立以来委員長を務めていらっしやった本太二丁目会長の秋元暉男さんが退任されました。それに伴い、令和四年度の一年間、育成会の古谷補導委員長がMSN委員長を拝命しました。